

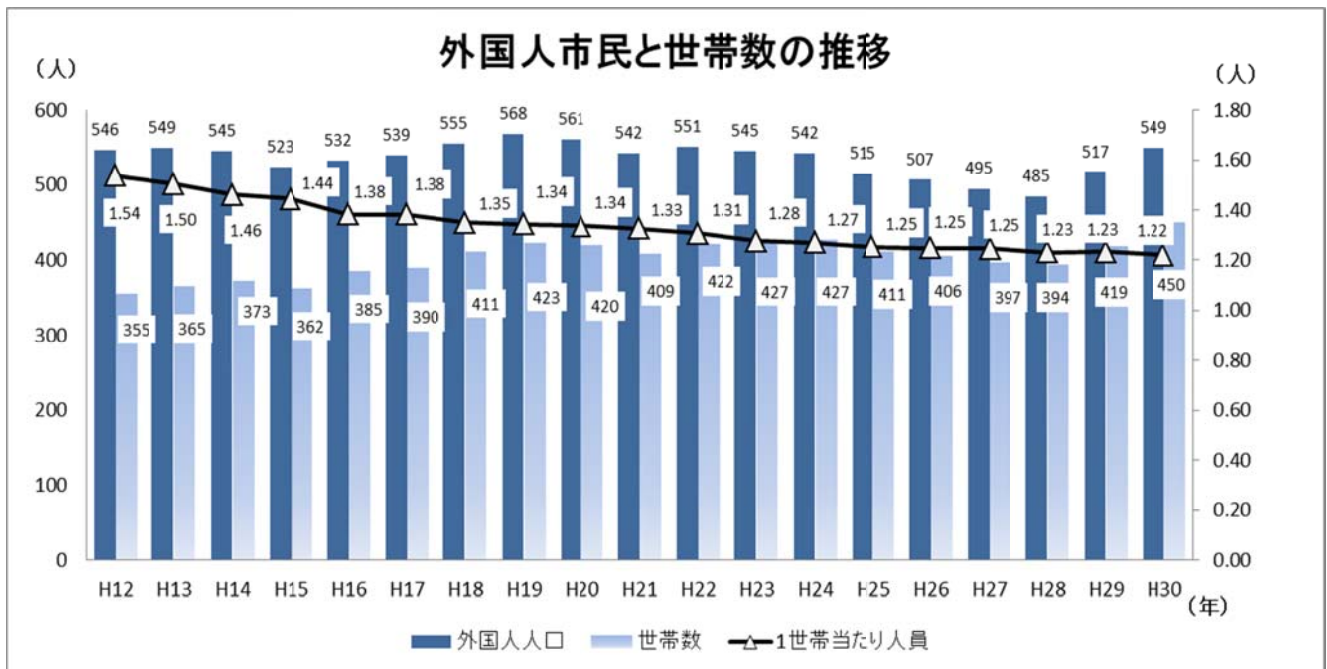
外国人市民の現状等

1. 人口・世帯数

- 平成 31 年 1 月 1 日現在、日本における外国人市民の人数は 266 万 7,199 人であり、日本の総人口 1 億 2,744 万 3,563 人の約 2.09%にあたる。
 - 大阪府においては、同日現在、外国人市民の人数は 23 万 5,977 人であり、大阪府の総人口 884 万 8,998 人の約 2.67%
 - 本市においては、同日現在、外国人市民の人数は 574 人であり、本市の総人口 105,924 人の約 0.54%となっている。
 - この数値は大阪府内の平均の約 2.67%を下回り、町村を除き大阪府内では一番少なく、本市は比較的外国人市民の少ない都市といえる。
 - また、外国人市民を含む世帯数 については 266 世帯で、市内全世帯 47,393 世帯の約 0.56%となっている。
- (ここまでの人口、世帯の数値についてはいずれも総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」より)

■外国人市民と世帯数の推移

- 外国人市民の人口及び世帯数の推移から、人口は、平成 19 年(2007 年)に最も多い 568 人(人口総数比 約 0.48%)を数え、その後は緩やかに減少傾向であったが、近年は増加に転じている。
- 世帯数は平成 24 年(2012 年)をピークに減少していたが、人口に合わせて増加に転じている。また、1 世帯当たり人員は減少傾向にある。



資料：河内長野市資料（各年 3 月末現在）

2. 国籍別・在留資格別の外国人市民の割合

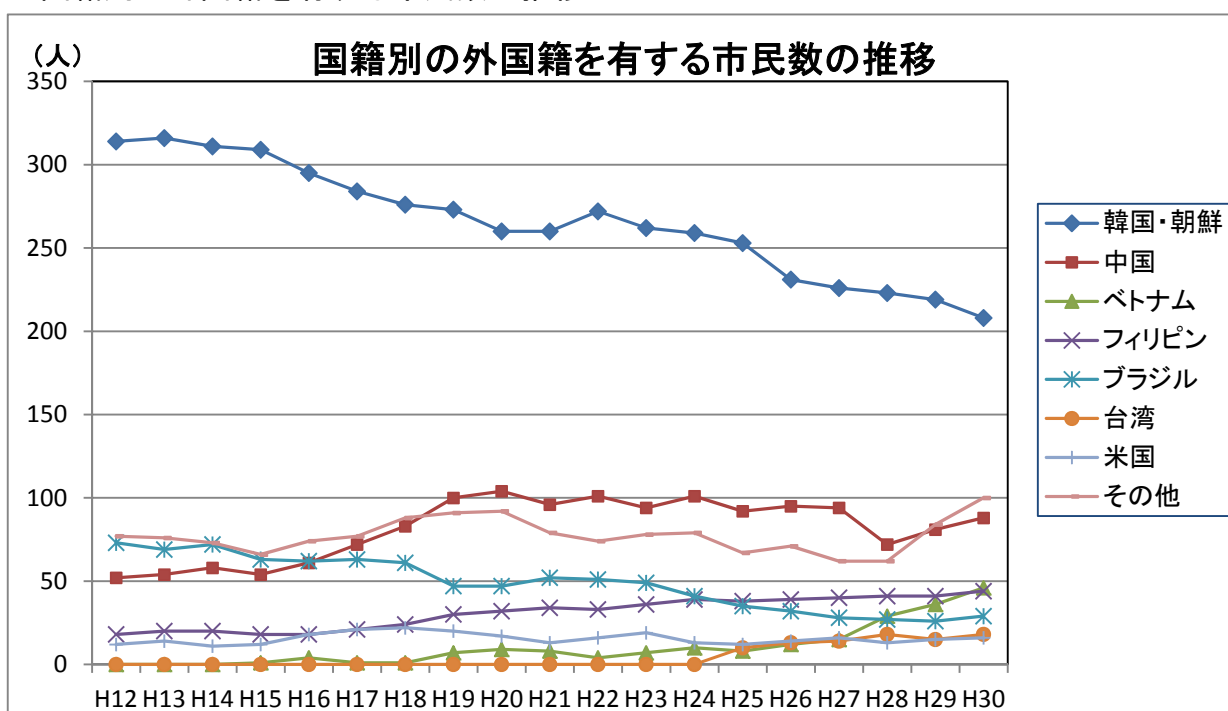
○本市における外国人市民の国籍の数は、平成30年（2018年）3月末現在で、34カ国に及んでいます。

○国籍・地域別にみると、韓国・朝鮮が最も多く、外国人市民全体の約37.9%を占めていますが、経年的に減少の傾向にある。

○次いで、中国が約16.0%と多くみられ、平成28年に急に減少したものの、その後増加している。

○以下、ベトナム（約8.4%）、フィリピン（約8.0%）、ブラジル（約5.3%）の順となっています。

■国籍別の外国籍を有する市民数の推移



国	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
韓国・朝鮮	314	316	311	309	295	284	276	273	260	260	272	262	259	253	231	226	223	219	208
中国	52	54	58	54	61	72	83	100	104	96	101	94	101	92	95	94	72	81	88
ベトナム	0	0	0	1	4	1	1	7	9	8	4	7	10	8	12	15	29	36	46
フィリピン	18	20	20	18	18	21	24	30	32	34	33	36	39	38	39	40	41	41	44
ブラジル	73	69	72	63	62	63	61	47	47	52	51	49	41	35	32	28	27	26	29
台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	13	14	18	15	18
米国	12	14	11	12	18	21	22	20	17	13	16	19	13	12	14	16	13	15	16
その他	77	76	73	66	74	77	88	91	92	79	74	78	79	67	71	62	62	84	100
合計	546	549	545	523	532	539	555	568	561	542	551	545	542	515	507	495	485	517	549

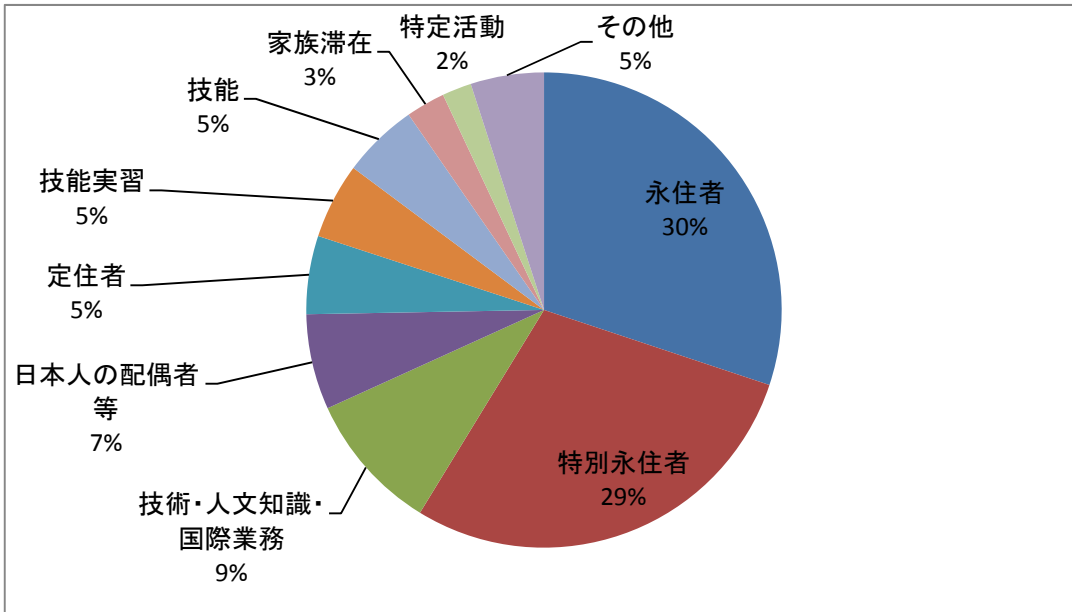
(人)

■国籍別の外国籍を有する市民割合の推移

国	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
韓国・朝鮮	57.5	57.6	57.1	59.1	55.5	52.7	49.7	48.1	46.3	48.0	49.4	48.1	47.8	49.1	45.6	45.7	46.0	42.4	37.9
中国	9.5	9.8	10.6	10.3	11.5	13.4	15.0	17.6	18.5	17.7	18.3	17.2	18.6	17.9	18.7	19.0	14.8	15.7	16.0
ベトナム	0.0	0.0	0.0	0.2	0.8	0.2	0.2	1.2	1.6	1.5	0.7	1.3	1.8	1.6	2.4	3.0	6.0	7.0	8.4
フィリピン	3.3	3.6	3.7	3.4	3.4	3.9	4.3	5.3	5.7	6.3	6.0	6.6	7.2	7.4	7.7	8.1	8.5	7.9	8.0
ブラジル	13.4	12.6	13.2	12.0	11.7	11.7	11.0	8.3	8.4	9.6	9.3	9.0	7.6	6.8	6.3	5.7	5.6	5.0	5.3
台湾	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	2.6	2.8	3.7	2.9	3.3
米国	2.2	2.6	2.0	2.3	3.4	3.9	4.0	3.5	3.0	2.4	2.9	3.5	2.4	2.3	2.8	3.2	2.7	2.9	2.9
その他	14.1	13.8	13.4	12.6	13.9	14.3	15.9	16.0	16.4	14.6	13.4	14.3	14.6	13.0	14.0	12.5	12.8	16.2	18.2

(%)

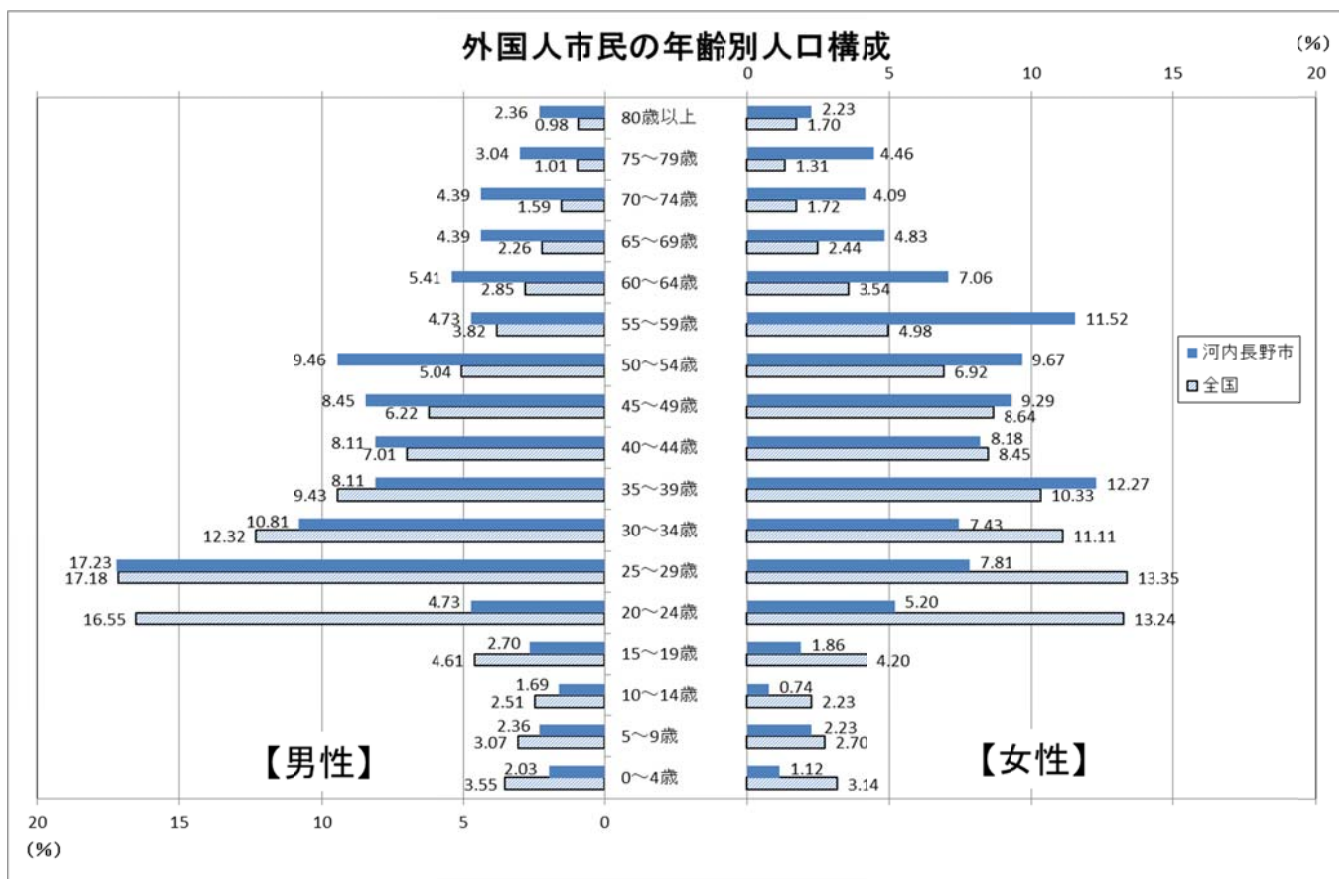
■在留資格別の外国人市民の割合



資料：河内長野市資料(平成31年3月末現在)

3. 外国人市民の年齢別人口構成

- 年齢別では、平成30年(2018年)6月末現在、0歳から14歳までの年少人口が外国人市民全体の約6.1%、15歳から64歳までの生産年齢人口が約79.7%、65歳以上の老年人口が約14.2%となっている。
- 市民全体では、同時期の65歳以上の高齢者の割合が約33.2%で、外国人市民の方が約19%低くなっている。
- 本市の外国人市民の年齢構成別構成は、全国と比べると年齢構成の分布が異なっており、全国では男女とも20歳代が年齢別人口のピークでそれ以降は減少しているのに対して、本市では、女性では30歳代後半がピークとなっている。
- また、本市では、50歳代前半から65歳以上の壮年期、高齢期の割合も比較的高くなっている。



資料：河内長野市資料(平成30年6月末現在)